

★キーパーズトーク「トラ」★

日 時：2月の土・日・祝 11時30分～11時45分頃
開催場所：「林床の世界」トラ運動場前

今回は、トラ。どんなおはなしが聞けるかな？
野生のアムールトラは、もともと寒い地域の森のなかに生息しています。
寒いこの時期、トラはどんなふうに過ごしているでしょう？
雪が降っても平気なの？
どんなご飯を食べているの？
などなど、トラについての質問を、飼育スタッフに聞いてみましょう。
当園のミライの事や、トラの生態など、飼育スタッフがわかりやすく解説しますよ。

ロバ乗馬（毎日実施中！）

当園では、30kg以下のお子さまはロバに乗ることができます。
スタッフがロバをひいて、運動場を一周します
お子さまの思い出づくりにいかがですか？

- 受付時間：10:00～12:00・13:00～15:00
- 開催場所：「ふれあい動物園」ロバ舎横 ロバのりば
- 参加費：1周200円

※お客様が多い場合は、早めに受付を締め切ることがあります。
※雨天時は、中止になります。

天候などの都合により変更・中止することがあります。どうぞご了承下さい。
詳しくは、HPもしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問い合わせ下さい。

森の仲間たち



「到津の森公園」事務所
北九州市小倉北区上到津 4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.itozu-zoo.jp/>

森のお便り 2月号 2019年

発行・編集「到津の森公園」「森の仲間たち」19年2月1日発行 通巻192号

ミモザ・サクラの看板設置！

2月1日（金）より到津の森公園の南北両ゲートにミモザ・サクラマップ看板を設置しました！今年は暖かい日が続き、ミモザが早く咲きだしていますので、一足先に設置しました。

ご来園の際は、マップをチェックしてミモザを探してみてくださいいかがですか？

～ミモザ開花状況（2月1日現在）～

九州最大級 約100本のミモザがある到津の森公園。

全体的なミモザの開花状況としては、一分咲き。

ですが、今年は木ごとの開花状況がずいぶん違って、現在、日当たりの良い「南側エントランス」や「草原の世界（キリン・シマウマ）」の周辺は、黄色い

ポンポンがけっこう開いている木もあれば、まだまだつぼみの木もあるなど、ミモザも今年のお天気に戸惑っているようです。

先月末は、気温がぐっと下がったので、少し足踏み状態な感じでしょうか。

花の咲き具合は、とても気温や天候に左右されます。当HPからの情報を、ご確認くださいね。



花暦 如月

いつもより早くというか、まだ夜の明けきらぬ時刻に目覚めてしまいました。カーテンをそっとずらすと、思わずオー！と声が出てしまう東の空。明けの明星、金星が白く浮かんでいます。またたきはなく、星とは思えない程大きく、清らかな白さと静かな佇まい、ときには、細い三日月が寄り添うように接近していて、眺めているとゆったり穏やかな気分が充たされ、じわじわ体温も上がってきたようです。こんなラッキーな朝はひとしきり観察の後には、早めに一日を始めよう。そう、時間を有効に使い、隙間タイムを見つけて到津の森公園へゆくとしましょう。

そんな真冬のある日園内に一步踏み入れると、すでにミモザ(ギンヨウアカシア)のつぼみがずいぶん膨らんで、わずかながら開花しているものも見られるのです。例年はない早咲きで、これならバレンタインデーには充分間に合いそうで、嬉しい気分が湧いてきました。ミモザはアメリカインディアンや南欧の人々の間で、古くから恋人達の花として愛されてきたそうです。

一日一日、ミモザの黄色は溢れ始めています。恋人達よ、到津の森公園へ来たれ！北九州随一のミモザの森へ来たれ！

今月の本棚

☆「猫の住所録」群よう子著

知らぬ人なきエッセイストの20年以上前の作品です。猫をはじめ犬・小鳥・イノシシ・蜂等、人もその他の生き物達も町中で一生懸命しかも気分のままに生きてゆく姿が若々しい文章で綴られています。肩のこらぬ読み物で、一日中幸せな気分になれることうけあい。

☆「鳥を探しに」平出隆著

知る人ぞ知る北九州出身の作家で、約660P、二段組みでビッシリの一冊。でも大丈夫。別に一気に読み通す必要はなく、気の向いた時(重っ!)手に取ってみて下さい。一生味わえます。対馬の自然観察者であった父祖から受け継ぐ自然に溶け込む暮らし、足跡をたどりドイツへ、そしてアラスカの犬そりを駆っての探検があれば、家族だからこそ避けられない不信や齟齬などこの膨大な内容を紹介する力はありませんが、装丁も素晴らしく全体に流れる静かな力強さは他に体験したことのないものでした。長い間、門司に初めて来たヒトツバタゴの疑問も、この本によって解決しました。

文:花咲くおばさん

森の仲間たち・レッサーパンダ

お嫁さんがやってきた！

レッサーパンダのクスクスは2015年に誕生し、人工哺育で育ちました。到津の森公園では実に18年ぶりのレッサーパンダの誕生とあって、たくさんの方がその成長を見守ってくださっています。そのクスクスも3才となり立派な大人へと成長し、お嫁さんを探していたところ年齢的にも血統的にもピッタリのお嫁さんがやってくることになりました。

伊豆大島にある大島公園動物園から飛行機を乗り継いで8時間かけやってきたのは2才の女の子。名前を「アシタバ」と言います。大島の名産であるセリ科の植物、明日葉から名前を付けたそうです。クスクスたちとは違い、明るい茶色の体色をしているのですぐに見分けることができます。レッサーパンダの繁殖期は1月～3月ですので、昨年12月の後半からクスクスとの同居を開始し、たまにケンカをすることもありますが、日中は2頭一緒に過ごしています。このアシタバは、中々のお転婆娘のようで、屋外放飼場では木の先端まで登り、ぶら下がってみたり、土遊びが大好きで顔が真っ黒になるまで遊んでいたりと、とても楽しそうです。クスクス君との恋の進展は今のところ不明ですが是非かわいいお嫁さんに会いに来てくださいね。



飼育展示係 中上 志保